

## 新設小学校における掲示スペース・収納スペースの考え方について

### 1. 検討の背景と目的

学校において、掲示物は生活、学習面の両面において大きな役割を果たしており、その種類も多様化している。一方で、オープンスペースを有する普通教室等においては壁面の減少による掲示スペースの不足、収納スペースの不足が指摘されており、多くの学校で掲示物が窓面に貼られている様子が観察される。また、特に教室後ろ側などで収納スペースを十分に確保すると、掲示スペースが制限されるなど、取り合いが必要である。ゼロエネルギーを目標に掲げている本新設小学校においては、自然光利用による照明エネルギーの削減はその達成に大きな役割を担っており、窓面への不可抗力的な掲示により意図した省エネルギー効果が低下しないよう、適切な掲示スペースの確保、合わせて収納スペースについての検討が重要となる。

そのため、本新設小学校の基本計画においても、掲示物の種類とその量を勘案した、掲示スペース、収納スペースについて検討を行う。

### 2. 掲示スペースの検討

#### 2.1 掲示スペースの内容と掲示場所

掲示物の内容は大きくは生活面と学習面に分類され、生活面の掲示物は種類が多く、比較的長期間掲示されるのに対し、学習面での掲示物は学習の効果を高めるために利用される短期の掲示と学習成果の展示として、大きな面積に対して定期的に貼り換えが行われるという特徴を有する。

また、掲示はその目的と場所の特性を踏まえて行われることが、掲示物の目的を高め、学習効果の向上につながると考えられる。表1に掲示場所の特徴に関する整理表を既往文献から引用する。

表1 掲示場所に関する教師の考え方

	場所の特性	掲示の意味、効果	掲示の仕方	
掲示場所	教室前 ・児童がよく見る ・常に目に付きやすい場所 ・児童の気がそがれる ・黒板があるので掲示場所が少ない	・クラスの一員として、仲間意識を持たせる ・年間通して、常に意識させる ・必要なもの、大切なものを掲示する ・学校での毎日の生活、システム ・児童各自の進み具合、成長 ・一日の予定、スケジュール	・必要最低限のものを掲示する ・すっきり、効率よく掲示する必要がある ・学習の邪魔にならないようにする ・横に掲示できないものを貼る ・可動掲示板を授業中に移動してくる	
	教室後 ・目障りにならない ・ある程度広い場所が確保できる ・ふとしたときに児童の目に入る ・児童が掲示しやすい高さ、材質	・明るく、カラフルに、季節感を出す ・作品を通して交流、友達への理解を促す ・積み重ねて、次の学習につなげる ・児童の作品や学習成果を表現 ・学習のまとめとして使う ・児童が自主的に行ったもの	・全員の作品等を貼る ・年間通しての掲示場所と定期的な掲示場所 ・同じ内容のものをまとめて掲示する ・掲示物どうしの流れを持たせる ・前、横で掲示しきれなかったものを貼る ・児童、または係活動で掲示させる	
	教室横 壁有 ・日常的に見やすい ・児童がよく見る ・登校時に毎日確認しやすい ・授業中に活用しやすい	・いつも頭に入れておいて欲しいもの ・事あるごとに確認に使う ・クラス、個人で決めたもの ・授業中に役立つもの	・授業中に学習の経過・流れを示す ・整理して並べる ・児童が確認に使う	
	教室横 壁無	・授業中OSのものを活用しやすい ・授業中のみに使う	・可動掲示板を持ってきて活用する ・教室からはみ出して使う	
	OS	・他のクラス・学年の人も見る ・掲示場所が選べる	・同学年・異学年の交流が持てる ・学年での取り組み ・児童たちの話題となる ・他の子と自分を比較し、役立てる ・学習内容、授業結果、生活を振り返らせる	・学年で掲示の内容を決める ・学年で大きく一つのことを掲示する ・特にクラス以外の人に見せる ・視覚的に楽しめるようにする ・季節にあったものにする
	廊下	・他のクラス・学年の人も見る ・休み時間等に立ち止まって見る	・同学年の交流が持てる ・友達のがんばりが見える ・学習内容、授業結果、生活を振り返らせる	・学年のまとめを出す ・特に見せたいものを掲示する
掲示方法	可動 間仕切 可動 掲示板 吊り 掲示	・大きな壁面を確保できる ・OSの窓からの光を遮断する ・横造紙が枠に収まらない ・吊るす作業が大変 ・まっすぐ並べて掲示するのが大変	・掲示場所が足りない時の補充として使う ・数が多くなるとOSが狭くなる ・数が少ないと使いたい時に余っていない ・少しの量の掲示のとき有効 ・なるべく照明をさえぎらないよう掲示する	

引用) 小学校の普通教室における掲示場所とその特性、日本建築学会学術講演梗概集(2004)、有田ら

これらを勘案して、掲示物の種類と役割、その掲示場所として望ましい場所を表2に整理した。表2においては、以下の視点を踏まえた。

- ① 不足が心配される普通教室周りに必須の掲示物とその他の掲示物  
→その他の掲示物はOS、廊下、昇降口等への掲示の可能性も勘案できる。
- ② 掲示期間が「長期（常に場所の確保が必要な物）」な掲示物と「短期」な掲示物  
→短期間の掲示物は可動式の掲示板等の利用を想定可能
- ③ 貼り換えの頻度が高い掲示物、低い掲示物  
→頻度が高い掲示物については、作業性を考慮する必要がある。

表2 掲示物の種類とその掲示場所

分類名	掲示内容例	説明	掲示場所の例		掲示期間	貼り換え頻度	
			教室内	廊下、OS等			
生活	目標等	① 学校目標、給食目標	学校から配布される目標	前	○	長期	
		② 学年目標	学年で決めた目標	前	○	長期	
		③ クラス目標、個人目標	クラス、個人で決めた目標	横、後		長期	○
	生活規則	④ 声のものさし	正しい行動を示すもの	前		長期	
		⑤ 生活時程	学校生活の決まり、時間割	前		長期	
	予定表	⑥ 学校の予定表、学校便り	学校から配布されるお便り	前	○	長期	
		⑦ 学年の予定表	学年向けのお知らせ、便り	前	○	長期	◎
		⑧ クラス予定表	クラス向けのお知らせ、便り	前、横、後		長期	◎
	役割分担	⑨ 掃除当番表、委員一覧表	クラス内の役割を示すもの	前、横、後		長期	
学習	学習支援	⑩ 公式、歌詞、ひらがな表	徹底・定着をはかる教材等	前、横	○	短期	◎
		⑪ イラスト、まとめ図	授業時に使用する教材、資料等	後	○	短期	◎
	学習成果	⑫ 絵、立体作品、作文	各单元ごとの児童の作品	後	○	長期	○
		⑬ 生活科カード、硬筆、習字	継続した学習の児童の作品	横、後	○	長期	○

参考文献) 小学校の普通教室における掲示場所とその特性、日本建築学会学術講演梗概集(2004)、有田ら  
 ※掲示場所の例における「○」は普通教室以外における掲示の可能性のある掲示物を示す。  
 ※貼り換え頻度における「◎」は随時もしくは一時間単位、「○」は単元単位程度

## 2.2 掲示量

掲示物の量については、既往論文等より、以下の知見が得られる。

- ・複数小学校の調査から、平均 16 m<sup>2</sup>、最大 40m<sup>2</sup> 程度 (図1)
- ・同時に2教科以上、全員分の掲示が行えない場合、教師から掲示スペースに対して不足の意見があがる。
- ・掲示量は片廊下式、オープンスペースを有する小学校等においても大きな差はない。
- ・各学校において季節的な変動はあり、特に長期休暇明けの自由研究等が掲示される9月以降にピークとなる。

### 2.3 基本計画における掲示の考え方

掲示は、普通教室周りに最低限の面積を確保し、それ以外の可変的な設えも含め、必要面積を満たすこととする。主な留意点を以下に示す。

- ① 掲示スペースは普通教室廻りにて相応量を確保すること。さらに、掲示が必ずしも教室廻りである必要がない物については、季節変動によるピーク量と閲覧者を考慮して計画する。
- ② 学年単位での目標や連絡事項等、学年にて共有すべき情報の掲示は建築計画上の学年クラスターの考え方の中で整理する。
- ③ 授業中の学習支援を目的とした掲示物のためのスペースを教室前面に確保する。壁面の確保が難しい場合は、可動式の掲示板等、可変的な設えを計画する。
- ④ 季節変動のある学習成果物の掲示スペースについては、普通教室廻りにこだわらず OS、廊下等に自然光利用を妨げない適切な場所に掲示用のスペースを確保する。また、クラス以外の児童、教員、保護者等が閲覧しやすい場所が望ましい。

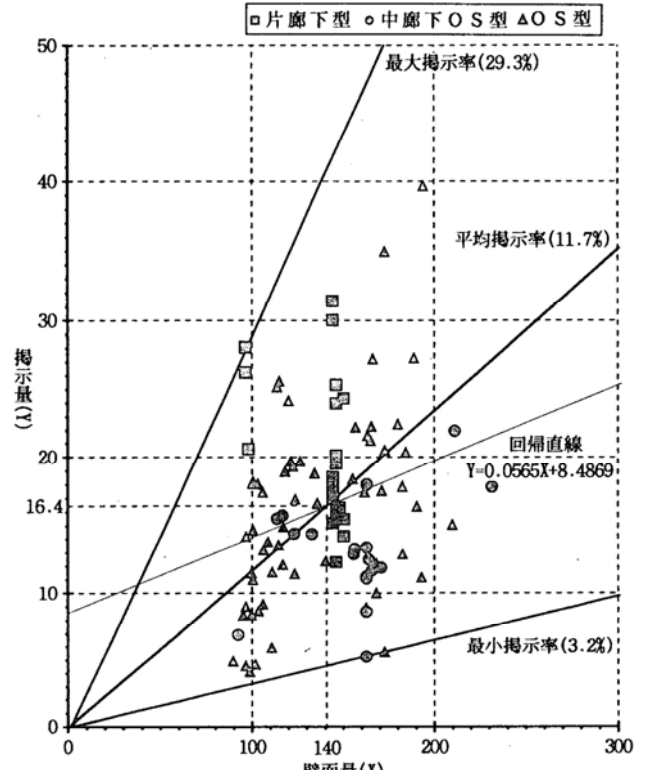


図1 教室タイプの違いによる壁面量と掲示量の関係 (n=99) cf. 情報伝達手段からみた学校建築計画に関する研究(その4)、吉村ら

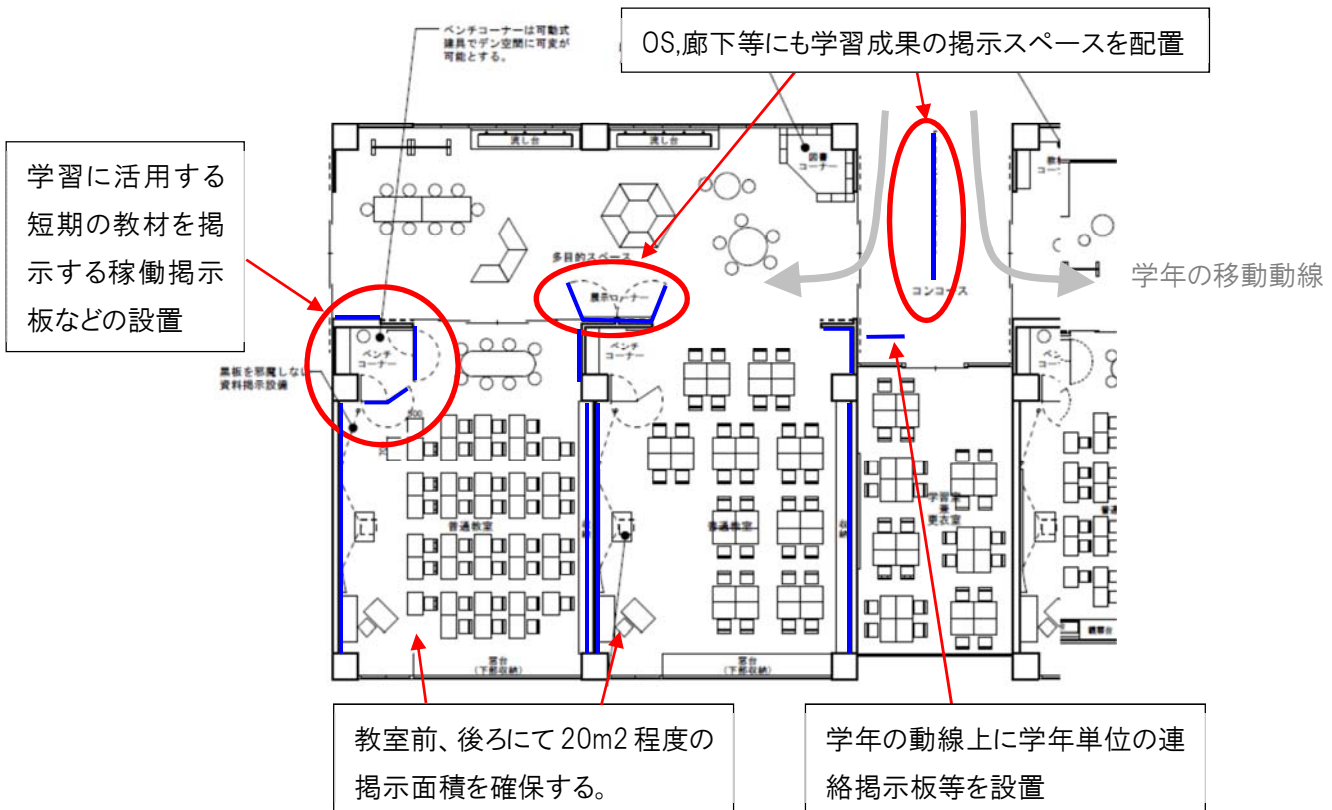


図2 普通教室周りの掲示の考え方



### 3. 収納スペースの検討

#### 3.1 収納スペースの考え方の目的

近年、小学生の荷物は増加しているといわれている。学校生活において、物が教室中に散乱している状況と整理整頓されている状況では、児童の気持ちにも相応の影響を及ぼすことが想像され、適切な収納場所を計画段階から検討しておくことが重要である。

特にオープンスペースを有する小学校等においては、普通教室内の壁面が少ないだけでなく、掲示スペースとの取り合いなどにより十分な収納が確保されない可能性がある。

そのため、基本計画においても、ある程度の物量想定を行い、適切な収納のあり方について整理する。

#### 3.2 小学生の主な持ち物

収納スペースを検討する上で、表1に主な小学生の持ち物とその収納場所の一覧を示す。

収納は主に、毎日必要な物、生活に必要な物、教科に必要な物に分類し、主な収納場所の想定と、その持ち物が常時設置か、特定の期間のみのものか、などの視点で整理する。

表1 小学生の主な持ち物とその収納場所

区分	収納場所ごとの主な持ち物												
	個人机の中		機構フック		ロッカー		フック		その他		常時	特定	
毎日必要な物	ふで箱・自由帳	○				ランドセル ・連絡袋(連絡帳他)	○						
生活に必要な物			給食セット(コップ、歯ブラシ)	○				かつぼう着(当番のみ)		○	水筒(夏期のみ)	○	○
教科で必要なもの	国語	教科書、ノート		国語辞典(個人用)	○								
		文字練習帳・漢字ドリル											
		漢字ノート・作文ノート											
		漢字テストファイル											
	書写	教科書					書道セット [3~]						
		書写プリント 書写用フェルトペン											
	算数	教科書、ノート											
		計算ドリル 算数セット(ブロック)											
	理科										実験キット(作成中は背面ロッカーに置く)		
	社会						資料集、地図帳				副読本	○	
生活	教科書、ノート					その他(スコップ、工作用材料など)							
音楽	教科書		リコーダー [3~]			鍵盤ハーモニカ [1,2]	○						
	リコーダー 鍵盤ハーモニカ用教科書												
体育								体操服					
								体育館靴 水着					
図工	図工セット(のり、はさみ等)					画材道具	○						
	教科書					その他工作材 粘土、粘土板等							
家庭	教科書									裁縫道具	○		

### 3. 主な今後の検討内容

①従来の学校では考慮されていなかった持ち物について

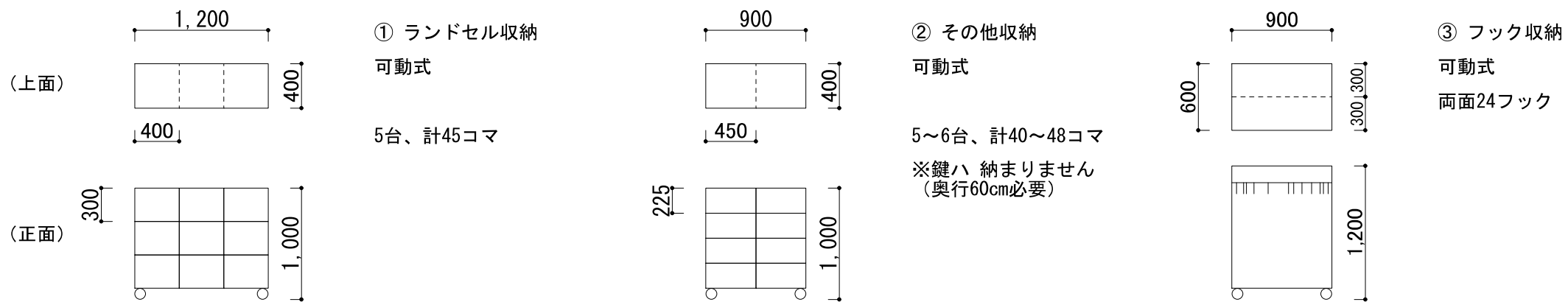
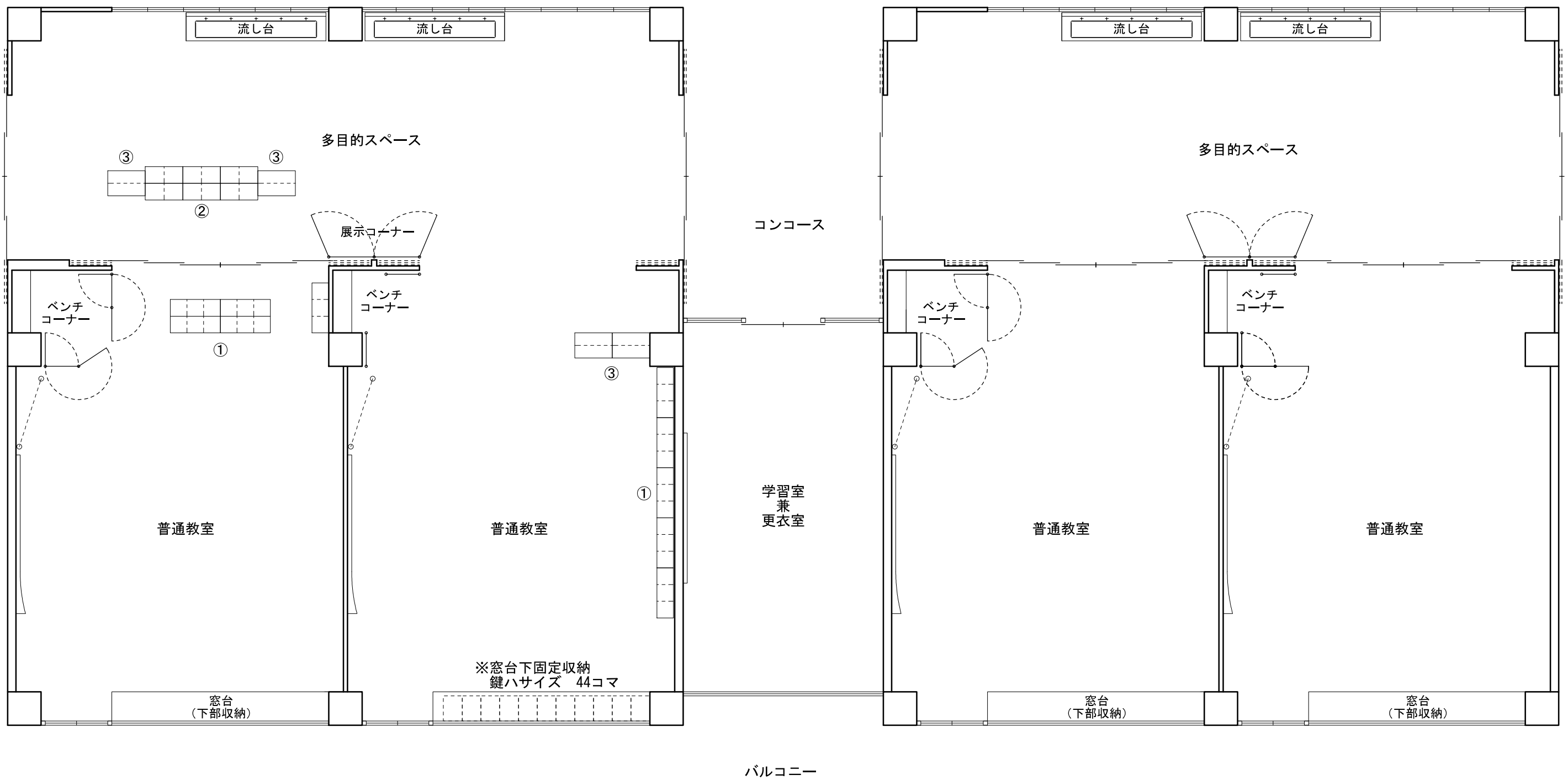
→夏期の水筒など、従来の学校では置き場所がなかったものへの対応

②個人ロッカーの大きさについて

→ランドセル、その他を収納する個人ロッカーの大きさについて、掲示スペースとの取り合いで考え方を整理する。

③個人用フックの場所について

→個人用フックは教室周辺の廊下、OS等でも構わない。従来の方式がベターか？



■室及び面積構成(案)

	基本構想案			基本計画案			備考			
	コマ数 (※)	部屋数 (室)	面積 (㎡)	コマ数 (※)	部屋数 (室)	面積 (㎡)				
普通教室	普通教室	I 期	1	24	1536	1.25	24	1920	教師コーナー、ロッカー	
	多目的スペース		24		1536	18	1	1152	普通教室に隣接 水まわり、教師コーナー、図書・PCコーナー、 デン、教材コーナー	
	学習室					0.55	6	211		
特別支援諸室	特別支援学級教室		0.5	4	128	0.5	4	128		
	遊戯室		1	1	64	1	1	64		
	その他		2		128	2		128	作業・調理スペース 倉庫、多目的トイレ、シャワー	
特別教室等	理科	理科室1	2	1	128	2	1	128		
		理科室2				1.5	1	96		
		理科準備室	1	1	64	0.5	1	32		
	音楽	音楽室	2	1	128	2	1	128		
		音楽準備室	0.5	1	32	0.5	1	32		
		楽器庫	0.5	1	32	0.5	1	32		
		練習室				0.25	2	32		
	図工	図工室	1.5	1	96	1.5	1	96		
		図工準備室	0.5	1	32	0.5	1	32		
	家庭科	家庭科室	1.5	1	96	1.5	1	96		
		家庭科準備室	0.5	1	32	0.5	1	32		
	メディアセンター	図書室	2.5	1	160	5	1	320	※基本構想案：図書室、PC教室隣接配置 ※基本計画案：PC教室を廃止し、図書室内でPC端末を利用できる形式とする	
		PC教室	2	1	128					
	生活科	生活科室	1.5	1	96	2	1	128	※第2音楽室として利用が可能な仕様 ※可動間仕切りで分割利用も可とする	
		生活科準備室	0.5	1	32	0	0	0		
	国際理解教室	国際理解教室				2	1	128	※外国語科、社会科、総合的な学習の時間 ※可動間仕切りで分割利用も可とする	
		準備室				0	0	0		
	特別活動室		2	1	128	2	1	128		
	多目的ホール		3	2	384	4	1	256	ランチルーム、ホールなど	
	児童用更衣室		0.3	6	115	0.3	6	115	男女別、教室に近接	
管理諸室等	校長室		1	1	64	1	1	64	応接スペース、会議スペース	
	事務センター		0.5	1	32	0.5	1	32		
	校務センター			5	1	320	5	1	320	
		執務スペース								
		教材作成コーナー								
		印刷室								扉を付け、室として設える
	情報交換ラウンジ									
	教員更衣室		0.8	2	102	0.55	2	70	男女1室ずつ	
	教員・一般用トイレ		0.65	1	42	0.65	1	42		
	会議室		1	1	64	1	1	64		
	保健室		1	1	64	1	1	64	隣接配置	
	相談室		0.5	1	32	0.5	1	32		
	放送スタジオ		1.5	1	96				※多目的ホール内にブースとして設置	
用務員室		0.5	1	32	0.5	1	32			
PTA室		0.5	1	32	0.5	1	32			
教材室		0.25	6	96				※普通教室ユニット内にコーナーとして設置		
給食関係室	調理室等			1	266		1	266		
	調理員休憩室			1	11		1	11		
わくわくプラザ	プラザ室		2.5	1	160	2.5	1	160	収納	
	スタッフルーム		0.4	1	26	0.4	1	26		
	トイレ		0.8		51	0.8		51	男・女・多目的	
	玄関		0.3		19	0.3		19	独立玄関	
共用部	昇降口									
	職員・外来者用玄関									
	トイレ									
	廊下									
	階段									
	手洗い場									
	設備スペース									
共用部計				2822			2871	全体の約30%		
校舎棟合計					9406			9571		

※64㎡(8.0m×8.0m)